

震災で亡くなった子どもたちを忘れないで



東松島市大曲地区にて



大きな船が打ち上げられたまま

東松島市大曲地区で、青い鯉のぼりが風に吹かれていた。
掲示版には、3.11 東日本大震災復興&追悼 青い鯉のぼりプロジェクト
毎年 5.5 に東日本大震災で犠牲になった子供達に「青い鯉のぼり」を掲げて
震災を忘れないであげてください。と書かれていた。

PJのメンバーに、何故青い鯉のぼりばかりなのか尋ねたら、「プロジェクト発起人の5歳の息子さんが震災で亡くなり、その子が青色の鯉のぼりが大好きだったから」と教えてくれた。

4月21日、全国から寄せられた140匹の鯉のぼりが、青い空を泳いでいたが、これからさらに60匹の鯉のぼりが寄せられるという。

いまだに進まない瓦礫処理

4/21 東松島市大曲地区

4月21日、東松島市大曲地区を訪れたが、被災住宅や瓦礫が震災当時そのままになっていて、瓦礫の処理すら行われていないのに驚いた。瓦礫の処理等を大企業に丸投げした県の姿勢が問われるが、震災による被害の大きさもものがたっている。



生活の痕跡がくっきりと



1年過ぎても震災当時のままの住宅